

5領域とのつながりを明確にしお子さま1人ひとりに合わせた内容を設定し支援しています。



領域	内容例
健康・生活	看護師等により常に健康チェックを行い、体調の変化に気を付けながら活動に取り組みめるように支援します。(例:検温・食事・衣類の着脱など)
運動・感覚	理学療法士によるリハビリや、上級指導者によるミュージック・ケア(音楽療法)を行うことで、姿勢保持や保有する感覚等を活用できるように支援します。(例:座位訓練・力加減・手首等の回旋運動など)
認知・行動	色や物の大きさ、重さ等の違いや自分の物と他者の物との区別、時間の流れなどを習得できるように支援します。(例:日付、天気の確認、マッチング課題・パズルなど)
言語・コミュニケーション	触れ合いや言葉かけ(擬態語:ゴシゴシ・ペチャペチャ・クルクルなどを用いた言葉)を行い、発語や発声を促したり、絵カードや文字カード等のコミュニケーションツールの使用、表情等で、自分の気持ちを伝えることができるように支援します。
人間関係・社会性	遊びや集団での活動を通して、ルールを理解とうれしくなる言葉や悲しくなる言葉を理解し、楽しさや喜びを感じ周囲の人と安定した関係を形成できるように支援します。(例:勝ち負けのある遊び・おもちゃの貸し借りなど)

5 領域について「児童発達支援ガイドライン」参考

<健康・生活>

1, ねらい

a:健康状態の維持・改善 b:基本的スキルの獲得 c:生活のリズムや生活習慣の形成

2, 支援内容

a:健康状態の把握

自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。常に健康状態をチェック。意思表示が困難なこどものサインに気づけるようにきめ細やかな観察。

b:健康の増進

睡眠、食事、排せつ等の基本的な生活リズムを身につける支援。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮（感覚等）、支援（咀嚼、嚥下、姿勢保持等）。病気の予防や安全への配慮。

c:リハビリテーションの実施

それぞれの子供にあった身体的、精神的、社会的訓練を行う。

d:基本的な生活スキルの獲得

身の回りを清潔にして、食事や衣類の着脱等生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。

e:構造化等により生活環境を整える

生活の中で様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。

<運動・感覚>

1, ねらい

a:姿勢と運動・動作の向上 b:姿勢と運動・動作の補助的な手段の活用 c:保有する感覚の統合的な活用

2, 支援内容

a:姿勢と運動・動作の基本的技能の向上

姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化

b:姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用

姿勢保持装置など様々な補助用具等の補助的手段を活用して支援する。

c:身体移動能力の向上

歩行や歩行器、車いすによる移動など必要な移動能力の向上のための支援

d:保有する感覚の活用

保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊び等を通して支援する

e:感覚の補助及び代行手段の活用

保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう、環境や補聴器等を活用できるよう支援する

f:感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応

感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援

<認知・行動>

1, ねらい

a:認知の発達と行動の習得 b:空間・時間、数等の概念形成の習得 c:対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

2, 支援内容

a:感覚や認知の活用

視覚、聴覚等感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援

b:知覚から行動への認知過程の発達

環境から情報を習得し、必要なメッセージを選択して行動につなげる一連の認知過程の発達を支援

c:認知や行動の手掛かりとなる概念の形成

物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援

d:数量、大小、色等の習得

数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援

e:認知の偏りへの対応

個々の特性に配慮し、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや変色に対する支援

f:行動障害への予防及び対応

感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生ずる行動障害の予防と適切行動への対応の支援

<言語・コミュニケーション>

1, ねらい

a:言語の形成と活用 b:言語の受容及び表出 c:コミュニケーションの基礎的能力の向上 d:コミュニケーション手段の選択と活用

2, 支援内容

a: 言語の形成と活用

体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援（モノや定見と言葉の意味を結び付ける等）

b: 受容言語と表出言語の支援

言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）支援

c: 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得

それぞれに配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援

d: 指差し、身振り、サイン等の活用

指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意志の伝達ができるよう支援する

e: 読み書き能力向上のための支援

発達障害等の障害の特性に応じた読み書き能力の向上のためお支援

f: コミュニケーション機器の活用

絵カードや機器等のコミュニケーション手段を選択・活用し、環境の理解と意志伝達ができるよう支援

g: 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用

多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意志の伝達ができるよう支援する

<人間関係・社会性>

1, ねらい

a: 他者との関わり（人間関係）の形成 b: 自己理解と行動への調整 c: 仲間づくりと集団への参加

2, 支援内容

a: アタッチメント（愛着行動）の形成

人間関係の意識と身近な人と親密な関係を基盤とした、周囲の人と安定した関係を形成するための支援

b: 模倣行動の支援

遊びを通じて人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援する

c: 感覚運動遊びから抽象遊びへの支援

感覚や運動機能の遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通して徐々に社会性の発達を支援

d: 一人遊びから共同遊びへの支援

一人遊び・並行遊び・連動的遊び・ルールを守って遊ぶ共同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援

e: 自己の理解とコントロールのための支援

できることできないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるよう支援

f: 集団への参加への支援

集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する

<家族支援について>

障害のある子どもの保護者だけでなく、きょうだいに対しても今抱えている不安や悩みなど、いつでもお話をお聞きいたします。

また、しおさいキッズでの支援場面を見て頂いたり一緒に参加していただくことで、お子さまとのかかわり方に関してのご相談もお受けいたします。

<関係機関との連携について>

インクルージョン（障害のあるなし関係なく、平等に地域で生活を送る権利）の観点から、保護者の意向を基にその子どもを取り巻く関係機関（医療機関、事業所、保育所、学校等）とお子さまの状態や支援状況の共有等の情報共有を行い、将来に向けた途切れのない支援を提供していくことができるように連携を図ります。